

2024年10月29日

配信先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、  
文部科学省記者クラブ、科学記者会、  
環境省記者クラブ、環境記者会

地球システム・倫理学会  
総合地球環境学研究所

## 地球システム・倫理学会第20回学術大会 基調講演・シンポジウム 開催のお知らせ

地球システム・倫理学会は、地球問題群を解決し、地球倫理を確立するため、2006年に設立されました。このたび、第20回学術大会を総合地球環境学研究所（地球研・京都市北区）にて開催します。基調講演およびシンポジウムを一般公開いたしますので、多くの方のお申し込みをお待ちしております。

### 【開催概要】

- 日 時：2024年11月20日（水）13:00～17:15
- 会 場：総合地球環境学研究所 講演室およびオンライン
- 主 催：地球システム・倫理学会
- 共 催：総合地球環境学研究所
- 参加方法：一般の方はオンライン参加のみ可能です。

下記 URL から事前にお申し込み下さい。（参加費無料）

<https://sites.google.com/view/global-ethics/20th-conference-registration?authuser=0>



近藤 誠一 地球システム・倫理学会会長



基調講演：山極 壽一（総合地球環境学研究所長）

## 【趣旨】

感染症のパンデミックからの出口は見てきたものの、気候変動が危険な領域に達している兆候に、世界中が震撼している。日本のみならず世界中で体験することとなった夏の猛暑、人にも生物にも大きな打撃を与える大火災の発生など、「もはや地球温暖化ではなく、地球が沸騰している」という国連事務総長の発言もうなずける。これは、まさに、人間が構築してきた社会システムが地球のシステムと合わなくなってきたことを示している。人と地球は、今、その存続の崖っぷちに立たされている。2023年7月には、地質学者たちが人新世の始まりを、1950年代にすることを提案した。人新世は終わりの始まりなのかもしれない。その危機的状況を脱するために、人間と地球の関わり方、人間社会の在り方を根本から考え直さねばならない。この大転換期において、これまで人類を含む生物が歩んできた進化の歴史と、このような状況を作り上げてきた文明に、学術的・学際的な視点から向き合うことの意義は大きい。総合地球環境学研究所の浅利 美鈴教授を大会実行委員長とする今回の第20回学術大会は、参加者の立場や年代を超え、人と地球、進化と文明の行く末を考え、語り合い、学際的かつ最先端の知見を結集し内外に発信することを目的とするものである。

## 【プログラム】

13:00 ~ 13:15	開会挨拶	近藤 誠一	地球システム・倫理学会会長
13:15 ~ 14:15	基調講演「人類の進化と文明のミスマッチ」	山極 壽一	総合地球環境学研究所所長
14:15 ~ 14:30	休憩		
14:30 ~ 17:00	シンポジウム「人と地球の危機的状況を脱するために —進化と文明の来し方行く末を考える」		
	モデレーター	近藤 誠一	地球システム・倫理学会会長
	シンポジスト	中村 桂子	JT 生命誌研究館名誉館長
		福岡 伸一	青山学院大学教授
		河瀬 直美	映画監督、大阪・関西万博プロデューサー
		広井 良典	京都大学 人と社会の未来研究院副院長・教授
		ハイン・マレー	京都府立大学教授、総合地球環境学研究所名誉教授
	コメンテーター	服部 英二	地球システム・倫理学会前会長／常任理事
		佐々木 瑞枝	地球システム・倫理学会常任理事
17:00 ~ 17:15	閉会挨拶	浅利 美鈴	総合地球環境学研究所教授

## 【問合せ先】

地球システム・倫理学会 事務局長 犬飼 孝夫 Email: tinukai@reitaku-u.ac.jp Tel: 04-7173-3035	総合地球環境学研究所(地球研) 広報室 岡田、柴田、松本 Email: kikaku@chikyu.ac.jp Tel: 075-707-2128、2482
--	---